

【令和7年度】

「奈良の地場産業号」

奈良県には、長い歴史と伝統に支えられた多様な地場産業が存在しており、それぞれが高い技術力と独自の特色を持って発展してきました。古都として知られる奈良ではありますが、その魅力は文化や観光だけでなく、優れた「ものづくり」の分野にも広がっています。

ならはきもの産業は、御所市を中心に上牧町、王寺町及び三郷町などで生産されており、和装履きやサンダル、草履などが製造されています。これらは伝統的な履物でありながら、各企業が健康・抗菌サンダルや杉・竹炭・チタンなどの新素材を使った商品開発に力を注ぎ、新たな需要に対応しています。

靴下産業は、全国でもトップクラスの出荷額を誇っており、大和高田市、広陵町及び香芝市などを中心に生産しています。地域内での分業体制が確立されていることにより、効率的で安定した生産が可能となっており、品質の高さや種類の豊富さから、多くの消費者に支持されています。

紳士靴産業は、明治時代の中頃に軍靴を製造したことに始まり、大和郡山市を中心に生産されています。革を用いた高品質な靴が特徴であり、履き心地の良さや耐久性に優れています。近年ではファッションに敏感な中高年の増加、若年層のスニーカーから革や合皮へのモードカジュアルの移行など、デザイン性にも力を注いでおり、ビジネスシーンだけでなくカジュアルな場面でも利用できる製品づくりに取り組んでいます。

毛皮革産業は、宇陀市菟田野が、なめしから縫製加工、販売までを一貫して行う全国唯一の産地であり、中でも鹿革は全国シェア約90%を占めており、武道具用、セーム革、手袋等の用途に利用されています。柔らかさと耐久性を兼ね備えた素材として評価が高く、近年の消費者ニーズの個性化に対応するため、製品の機能性とファッション性を追求しながら、付加価値の高い商品づくりを目指しています。

スポーツ用品産業は、三宅町、河合町及び桜井市等を中心に発展しており、特に野球用グローブ・ミットは大正時代中期に生産が始まり、長年に渡って培われた精巧な手作業技術が評価されています。また、スパイクシューズやスキー靴は、熟練した技術を活かした製品づくりが行われており、今後は、多様化する消費者ニーズに対応した自社ブランドの確立や、高機能・高付加価値製品の開発に取り組んでいきます。

このラッピングトラックは、高品質な奈良県の地場産業を全国に発信して走ります。



【令和6年度】①

『日本』始まりの地 飛鳥・藤原号

「飛鳥・藤原」は、古墳時代の終わる6世紀末から平城京へ遷都する約100年間に、中国・朝鮮半島との交流や、中央集権体制を採用した国づくりが行われたことを示す遺跡群です。

中央集権体制に基づく都城（首都）の形成が短期間に急速に進んだことを示す「宮殿・官衙跡」「仏教寺院跡」「墳墓」の地上・地下遺跡が、良好な状態で保存されています。

「石舞台古墳」は、国営飛鳥歴史公園内石舞台周辺地区の中央に位置する、我が国最大級の方墳です。墳丘の盛土が全く残っておらず、巨大な両袖式の横穴式石室が露呈している独特の形状です。天井石の上面が広く平らで、まるで舞台のように見えることから、古くから「石舞台」と呼ばれています。30数個の岩の総重量は約2,300トン、天井石は約77トンの重量であることから、当時の土木・運搬技術の高さがうかがえます。被葬者は明らかではありませんが、7世紀初頭の有力者で、大化の改新で滅ぼされた蘇我入鹿の祖父である蘇我馬子の墓ではないかと言われています。

「藤原宮跡」は、藤原京の中心施設、藤原宮のあったところです。一辺約1kmの中に、大極殿や朝堂院といった国をあげての儀式や政治を行う施設や、天皇の住まいである内裏などがあり、現在の皇居と国会議事堂、霞ヶ関の官庁街を合わせ持っていました。藤原京は16年間の都でしたが、その構造は後の都づくりにも引き継がれていきます。藤原宮跡には季節ごとに美しい花が植えられ、大和三山を背景に広大なスケールで咲くコスモスは、息をのむ絶景です。

このラッピングトラックが全国を走行することにより、「飛鳥・藤原の宮都」の遺跡群が世界の遺産であることを発信できることを願っています。



【令和6年度】②

「四季に染まる奈良・奥大和へ号」

自然豊かな「奈良・奥大和」は、奈良県南部と東部の19市町村から成ります。世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」など修験道の聖地として長い歴史を持ち、近畿最高峰の山々や高原が広がっています。

春・・・高取町の壺阪寺は、南に桜の名所、吉野山を控え、北に万葉のふるさと、大和三山奈良盆地を一望におさめる壺阪の山に建ちます。境内の堂塔伽藍を覆い尽くすように咲く約300本の桜が、高さ10mの「大釈迦如来石像」を包み込む「桜大仏」の姿は迫力があります。西国霊場の第六番札所として知られ、本尊十一面千手観音菩薩像は、眼病に霊験あらたかな観音様として全国から参拝者が訪れる名刹です。

夏・・・前鬼川（ぜんきがわ）は、下北山村を貫く屈指の溪谷です。不動七重（ふどうななえ）の滝は、池原ダムの上流にある深い谷間より七重となって落ちる前鬼山中最大の滝で、日本の滝百選にも選ばれています。深く透明な碧き水色は、とても神秘的です。

秋・・・吉野町の高城山（たかぎやま）は標高702m、鉢伏山とも呼ばれる円錐形の山で、元弘3年（1333）、吉野で鎌倉幕府倒幕の兵を挙げた大塔宮護良（もりよし）親王の吉野城の詰め城があったところです。高城山展望台に続く坂道には、モミジの木が並び、まるで紅葉のトンネルのようです。

冬・・・御杖村の三峰山（みうねやま）山頂付近では、1月から3月にかけての厳寒期に、空気中の水分が木々の枝に付着して凍り付く「霧氷」が現れます。霧氷は、「自然が生み出す水の華」と呼ばれ、その繊細で幻想的な光景を求めて、全国各地から登山客が訪れ、毎年1月から2月には麓で「霧氷まつり」が開催されます。

このラッピングトラックが全国を走行することにより、多くの方々に奈良・奥大和の情報発信ができることを願っています。



【令和5年度】

「企業立地と宿泊立地は奈良県へ号」

栄える「都」をつくるをコンセプトに、奈良県では雇用の機会の創出や地域経済の活性化のため、企業及び工場誘致に注力しています。この誘致活動の結果、令和3年の工場立地件数は31件で「全国9位」「近畿2位」と高水準となっており、更に、令和5年からの4年間で新たに120件の工場誘致を目指し、市町村と連携・協働し新たな産業用地の創出に取り組んでいます。京奈和自動車道 御所IC至近に約12haの工業団地を整備する事業を進めるなど、中南和・東部地域における新たな工業ゾーンの創出にも取り組んでいます。また、宿泊施設の誘致につきましては、奈良県の持つ、歴史と文化両面を求めてお越しになる多様な皆様のニーズに応えるべく、立地促進を図っており、滞在型観光を一層推進するため県内に旅館・ホテルを新築する事業者を対象として補助金交付制度や、優遇税制、また各種融資制度など、手厚い支援体制を整えています。

今回のラッピングトラックでは、このような奈良県の企業立地及び宿泊立地の誘致活動を皆様に知って頂くため、奈良県の新しい広報担当の仮想キャラクター「バーチャルユーチューバー」の「奈々鹿（ななか）」が、トラックのコンテナから奈良県の取組みをご案内させて頂く事になり、皆様とお会い出来る事を楽しみにしていますので、奈良県共々どうぞよろしくお願い致します。私たち奈良県トラック協会では、輸送トラックにラッピングデザインを施して全国を走行することにより、多くの方々に奈良県の持つ奥深い歴史や文化そして奈良県の取組みに興味を持って頂ける契機となる事を願っています。



【令和4年度】

「なら歴史芸術文化村号」

令和4年3月に奈良県天理市柚之内町に複合文化施設としてオープンした「なら歴史芸術文化村」は、文化財4分野（仏像等彫刻、絵画・書跡等、建造物、考古遺物）の修復作業の様子を間近に見られ、伝統工芸品の展示やモノづくりを体験できるワークショップなど、好奇心を満たす催しが盛りだくさんです。

また国内外から招いたアーティストとの交流や、子どもを対象としたアートプログラムなど、一方向の解説を聞くことだけで終わらせず、専門家や他の参加者と対話しながら知的好奇心を広げて学びを深めるラーニングプログラムを实践。五感で感じ、さまざまな人と関わり、体験して、「なぜ？」という新たな問いを生み出すことを大切に、知を探求していく楽しさを提供しています。また併設の伝統工芸品ショップやレストラン、奈良の良いところをぎゅっと集めた道の駅でのお土産選びも楽しみの一つでしょう。さらに施設に隣接する日本最古の道である「山の辺の道」

には柚之内古墳群や内山永久寺跡など「記紀・万葉集」ゆかりの数多くの史跡が古代ロマンの世界に誘ってくれます。

トラックのボディーにドローンで撮影された文化村を中心とする写真を左右両面に大きく配置することによって、いにしへの昔よりほとんど変わらぬ奈良盆地の風景にじっくり調和する「なら歴史芸術文化村」の姿は都会では味わう事の出来ないほっとする安らぎを与えてくれます。

私たち奈良県トラック協会では、奈良県内の魅力ある「物」や「ところ」を輸送トラックのボディーにラッピングデザインを施し全国を走行することで、多くの方々に奈良県の持つ奥深い歴史や文化に興味を持って頂ける契機となる事を願っています。



奈良県トラック協会

【令和3年度】①

「美しき日本・奈良号」

日本人は、日本のことをどれくらい知っているのでしょうか？日本らしさとは、なにか？日本人が日本について知るべきことは、まだまだたくさん残っているはず。きっとそこには、あなたの知らない日本があるはず。

四季の風景、思想、文化、祭り、伝統、技術。日本の魅力を、奈良の魅力を、ひとつひとつアーカイブしていくことで、「日本」の魅力を、「奈良」の魅力を紐解いていきます。その土地でしか感じられない魅力を再発見すること。日本というひとつの国に、奈良というひとつの場所に、こんなにも多くの魅力があることを知ること。奈良のことを深く知ってもらうための入り口です。それが、「美しき日本 奈良」です。

今回のラッピングトラックは、奈良県南部・東部地域の自然豊かな美しい原風景や素朴かつ精神性の高い山間文化、歴史・人の営みの魅力を映画作家河瀬直美氏の手によりストーリー性やテーマ性を持たせた動画「美しき日本・奈良」を河瀬監督の上質な映像とナレーションにより紹介される動画を YouTube 上で配信している事を全国の多くの方々に「美しき日本 奈良」をお伝えしたいと、車体に奥大和の美しい風景と動画サイトの QR コードを配置し、制作致いたしました。

私たち奈良県トラック協会では、輸送トラックにラッピングデザインを施して全国を走行することにより、多くの方々に奈良県の持つ奥深い歴史や文化に興味を持って頂ける契機となる事を願っています。



【令和3年度】②

「奈良まほろば館号」

首都圏における奈良県の情報発信の拠点「奈良まほろば館」は、東京日本橋で12年間にわたり、観光情報の発信や県産品の販売を通じて、奈良の魅力を発信してきましたが、日本橋エリアの再開発に伴い、令和3年8月10日に新橋に移転しました。

1階 Shopでは、奈良県生まれの魅力的な暮らしが豊かになるような奈良の良いものを展示・販売。併設する Cafe & Bar では奈良の地酒やかき氷などを気軽にお楽しみいただけ、2階の Restaurant & Bar 「TOKi」では奈良の生産者と連携し、料理を通して季節の素材や奈良の風土と歴史を皆様に感じていただけるレストランを併設。また、奈良まほろば館の観光案内では、奈良のご当地検定の最上級である奈良まほろばソムリエの資格をもつ観光コンシェルジュが常駐し、よりよい奈良の旅をご提案しています。新しく出来た様々な機能を活かしながら、観光、食、特産品、伝統工芸などの情報を発信し、奈良県の認知度とブランド力向上を図ることで、今後の観光需要の回復を見据えて奈良県への誘客、県産品の販路拡大を通じた地域活性化を目指します。

私たち奈良県トラック協会では、輸送トラックにラッピングデザインを施して全国を走行することにより、多くの方々に奈良県の持つ奥深い歴史や文化、そして新しい奈良県の取り組みに興味を持って頂き、来県の契機と県産品の販路拡大などを通じた地域活性化に協力できればと考えています。



【令和2年度】①

「奈良県プレミアムセレクト号」

今回の4tトラックに施されたラッピングトラックは、「奈良県プレミアムセレクト号」。

「とびきりの奈良を召し上がれ」をキャッチフレーズに、大きさや形といった外観の基準だけでなく、品質面でもすぐれた特徴を持つ「とびきり」の製品とその製品を生産・販売する団体を、県が設定した基準に基づいて認証する制度に合格した「富有柿」、「ハウス栽培刃根早生柿」、「アスカルビー」、「古都華」、「二十世紀梨」、「大和牛」の6製品をラッピングデザインし、各地を巡る輸送トラックとしました。平成28年よりスタートした奈良県のプレミアム商品には、全出荷量の1%にも満たないものや、県外のマーケットではなかなか手に入らない商品でも、インターネットショッピングの急激な発達とスマートフォンの普及により、素早く検索し、QRコードから情報を得てその場ですぐ購入出来る事が当たり前の中となってきました。

コロナ禍から始まった「巣ごもり消費」は、人々の購買行動に大きな影響を与えました。遠くない将来、EC市場での購入がさらに定着し、それがスタンダードになって行くことでしょう。

輸送トラックにラッピングデザインを施して走行することにより、広く県内外の方々に奈良県の農畜水産物に興味を持って頂き、奈良県プレミアムセレクト購買のひとつの契機となればと考えています。



【令和2年度】②

「祈りの地 奈良へ号」

「はじまりの奈良、めぐる感動」。これは、日本の歴史・文化が連綿と続いた事を祝い、過去・現在・未来の日本を考えることをコンセプトに、奈良観光の合言葉として平城遷都1300年祭以降、広く使われているコピーです。

今回のメインキャッチフレーズである「祈りの地奈良へ」は、神社仏閣への祈り、自然への祈り、そして疫病退散や病氣平癒など、太古の昔より受け継がれてきた祈りの聖地である奈良の姿とその魅力を再認識して頂きたいという思いが込められています。

今回のラッピングトラックは、右側面に、二上山に沈む夕日を遠望した「明日香村の棚田」。

左側面には、300万本のコスモスに朝日射す「藤原宮跡のコスモス」。そして後面に奈良公園浮雲園地に遊ぶ若鹿を配置しました。

朝が来て夜が来る。太古より変わらぬ大いなる自然のサイクルに心から手を合わせ祈る。これは始まりの地である奈良であるからこそ意味を持つものです。

アフターコロナの奈良観光の姿を見据えながら、伝統文化や環境に配慮し、持続可能なより良い観光地づくりのサステナブルツーリズムを意識し、祈りと学びの地奈良を感じて頂ければと考えています。

私たち奈良県トラック協会では、輸送トラックにラッピングデザインを施して全国を走行することにより、多くの方々に奈良県の持つ奥深い歴史や文化に興味を持って頂ける契機となる事を願っています。



【令和元年度】

「大宮通り号」

大宮通り（おおみやどおり）は、阪神方面から阪奈道路や第二阪奈道路などを通じて奈良市宝来町から近鉄奈良駅前までを東西に延びる4車線道で、興福寺・東大寺・春日大社・奈良公園など奈良市中心部を代表する観光地に直結する奈良のメインストリートです。

2020年4月。この大宮通り沿いに、ホテルを核とした賑わいと交流の拠点整備事業として、日本初進出となる最高級ホテルブランド「JWマリオットホテル奈良」や、奈良の新たな観光交流拠点として「奈良県コンベンションセンター」、外観に校倉造りを想起させる「NHK新奈良放送会館」の3施設が完成致しました。

これにより、景観整備に取り組む「大宮通り」の魅力を全国にアピールすることを目的として、ラッピングトラック「大宮通り号」を製作致しました。

沿道には、国営平城宮跡歴史公園に復元された「遣唐使船」や、往時の隆盛を偲ばせる「朱雀門」などを横目に眺めながら、若草山・春日山・高円山の山並みが正面に迫る時、古代と現代が交差し融合する「大宮通り」の景観の魅力にお気づき頂ければと考えています。

私たち奈良県トラック協会では、輸送トラックにラッピングデザインを施して全国を走行することにより、多くの方々に奈良県の持つ奥深い歴史や文化に興味を持って頂ける契機となる事を願っています。



【平成30年度】

「伝統工芸なら号」

かつて都が置かれていた奈良県では、古くからすぐれた工芸品の需要が多く、製作が盛んに行われていました。「県指定工芸品のひとつである赤膚焼は、大和郡山城主であった豊臣秀長が、常滑の陶工を招いて窯を築いたのが始まりといわれており、乳白色の柔らかい風合いや奈良絵文様等が特徴の陶器です。同じく県指定工芸品である奈良団扇は、奈良時代に春日大社の神官が軍扇の形にならって作ったのが始まりといわれており、江戸時代に大成し、明治の初めには透かし彫り団扇も復興しました。こうした奈良県の伝統工芸の魅力を発信するため、このたびラッピングトラック事業を実施いたします。



「奈良県立美術館号」

近世日本画、浮世絵、美術工芸品のコレクションを中心に1973年開館した奈良県立美術館。後に同じく近世日本絵画や浮世絵からなる由良哲次のコレクション、奈良県出身の陶芸家・富本憲吉の作品コレクション、具体美術協会の他、日本の戦後現代美術のコレクターであった大橋化学工業株式会社社長・大橋嘉一のコレクションを収集し、所蔵品は4,100点を超えています。

近鉄奈良駅から徒歩5分程度に位置し、アクセス支便な同館は、年4回の企画展や特別展の開催など、県内はもとより、観光に訪れる人々をも楽しませてくれています。今回のラッピングトラックはこの「奈良県立美術館」に焦点を当て、奈良県立美術館のコレクションの中より、奈良にゆかりの作家・工芸家の作品を中心に構成しました。中でも奈良ゆかりの画家として名高い、不染鉄（ふせんてつ）の「いちちょう」や、鹿の画家として有名な浜田葆光（はまだ やすみつ）の「水辺の鹿」をメインとし、陶芸家・富本憲吉の代表作などを配すことにより、近現代に於ける芸術文化の発信地であった「奈良」を再認識して頂くことが目的です。奈良県の懐深い芸術文化の香りを輸送トラックに載せ、全国各地を走行することにより、多くの方々に悠久の歴史だけではない奈良の魅力にも興味を持って頂ければと考えています。



【平成29年度】

「伝統工芸なら号」

かつて都が置かれていた奈良県では、古くからすぐれた工芸品の需要が多く、製作が盛んに行われていました。「県指定工芸品のひとつである赤膚焼は、大和郡山城主であった豊臣秀長が、常滑の陶工を招いて窯を築いたのが始まりといわれており、乳白色の柔らかい風合いや奈良絵文様等が特徴の陶器です。同じく県指定工芸品である奈良団扇は、奈良時代に春日大社の神官が軍扇の形になって作ったのが始まりといわれており、江戸時代に大成し、明治の初めには透かし彫り団扇も復興しました。こうした奈良県の伝統工芸の魅力を発信するため、このたびラッピングトラック事業を実施いたします。



「平城宮跡歴史公園号」

平城宮跡は、日本の律令国家が形成された奈良時代の政治・文化の中心として、多くの重要な遺構が確認されており、学術上きわめて価値の高い文化財として、昭和26年度に特別史跡に指定され、平成10年度には世界遺産に登録されています。奈良県では、「古都奈良の歴史的・文化的景観の中で、平城宮跡の保存と活用を通じて、“奈良時代を今に感じる”空間」として、事業化された国営公園と連携して県営公園区域の事業を進めてまいりました。このたび、「朱雀門ひろば」等について整備が進み、平成30年3月24日に「平城宮跡歴史公園」としてオープンすることから、ラッピングトラック事業を実施し、広く発信いたします。



【平成28年度】

「国文祭・障文祭なら2017号」

「第32回国民文化祭・なら2017」「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」は、9月1日から11月30日の3ヶ月間行われ、日本文化のはじまりの地、奈良に全国から様々な文化芸術活動を行う多くの人が集まり、日頃の活動成果や交流を図る国内最大級の文化の祭典です。これまではオリンピック、パラリンピックのように、それぞれ別々に行われていましたが、奈良県ではこの二つの催しを全国初の取り組みとして、一体的に開催いたします。この大会の開催を全国に発信していく方法の一つとして、ロゴマークや「国文祭・障文祭なら2017」PR用の装いである紋付袴姿のせんたくんを配したラッピングトラックとしています。



(平成29年11月30日まで走行)

「なら食と農の魅力創造国際大学校号」

奈良県の農業振興を図るためには、農産物の高付加価値化が重要な課題となっています。そのため、県では、農業の6次産業化の推進と奈良の美味しい「食」づくりを進めて参りました。この取り組みをさらに推進するため、農業の6次産業化の実践を担う人材育成の拠点として、奈良県農業大学校に「農に強い食の担い手」を育成する「フードクリエイティブ学科」を新設し、「なら食と農の魅力創造国際大学校」（通称：NAFIC：ナフィック）として再編、平成28年4月に開校しました。なら食と農の魅力創造国際大学校では、これまでにない実学教育で、生産・調理・加工・流通などを担う次世代の「食」と「農」のトップランナーを育成します。



【平成27年度】

「奈良県の伝統工芸号」

奈良を代表する伝統工芸である高山茶釜・奈良筆・赤膚焼・吉野手漉き和紙等は、永い歴史の中で培われた技術と伝統を現代に伝え、私たちの生活に潤いを与えています。中でも「国指定伝統的工芸品」である「奈良筆」は、今から1200年前、唐に渡った空海が筆作りの技法を日本に持ち帰り大和の国で広めたと言われており、また、同じく「国指定伝統的工芸品」である「高山茶釜」は奈良の地において茶道の礎を築いた村田珠光の侘び茶の普及と共に発展し、室町後期から約500年の歴史を持っています。これらの歴史深い奈良県の伝統工芸品を全国の方々に興味を持って頂く方法の一つとして、ラッピングトラック事業を実施致しました。



「漢方薬ゆかりの地号」

近年、予防医学の意義が再認識されつつあり、「未病を治す」漢方が世界的に注目を集めています。漢方や生薬製剤について、奈良時代にまで遡る文化的・歴史的厚みや、地場産業として配置薬業が発展してきた奈良県。なかでも生薬としては、代表的な婦人薬であるヤマトウキは17世紀中頃から大和などで自生していたものを栽培し利用されてきました。また、奈良時代に渡来した薬用植物のシャクヤクやアカヤジオウは、奈良県に縁のある薬草で、ジオウは橿原市に「地黄町」という地名が今なお残っています。こうした奈良県に古くからゆかりのある生薬の栽培と普及に力を注ぐ奈良県を全国にアピールする方法の一つとして、ラッピングトラック事業を実施致しました。



【平成26年度】

「奈良の木ブランド号」

奈良の木をつかおう！

この森林は、吉野郡川上村にある樹齢300年近いスギの人工林です。日本の三大人工美林の一つに数えられ、吉野材として高級建築部材などに利用されてきました。

奈良県は、吉野材に代表される高級材の産地として、古くから建築用材を専門に製材する工場が各地に集積しています。

しかし、近年、住宅着工戸数の減少や住宅様式の洋風化などの影響で、これまで得意としてきた高級建築部材が売れない厳しい状況にあります。

そのため県では、これまでの「高級材を選んで出す林業」から「根本の太い部分から細い幹まで全てを搬出して多用途に供給する林業」へ転換し、製材・加工・流通での受け皿の確保と競争力ある木材産業を構築するとともに、マーケットでの県産材製品の流通拡大を実現するための取り組みを進めることとしています。

このため、建築物などでの利用拡大を進めるためのPR活動を実施し、高級材の需要が見込める首都圏等への売り込みにも力を入れています。

これらの取り組みを全国に発信していく方法の一つとして、「奈良の木をつかおう！」と題したラッピングトラック事業を実施致しました。



「春日大社式年造替号」

春日大社 第六十次式年造替

春日大社は、奈良時代の768年に鹿島神宮の武甕槌命たけみかづちのみこと、香取神宮の経津主命ふつぬしのみことと枚岡神社の天児屋根命あめのこやねのみこと・比売神ひめがみをお迎えて御蓋山のふもとに創建されました。

「式年」とは「定まった一定の年限」、「造替」とは「社殿を造り替える」という意味です。神さまが引っ越しされることを「遷宮」といいますが、春日大社では本殿の位置は変えずに、建て替え、あるいは修復を行うため「造替」といいます。

創建以来1200年にわたって御殿の建て替えと御神室の新調がほぼ20年に一度、繰り返行われてきました。

第六十次という区切りとなる式年造替の行事を全国に情報発信する方法の一つとして、ラッピングトラック事業を実施致しました。



(平成28年11月6日まで走行)

第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～

主 催 豊かな海づくり大会推進委員会
第34回全国豊かな海づくり大会奈良県実行委員会
後 援 農林水産省、環境省
開 催 日 平成26年11月15日（土）、16日（日）
開催場所 吉野郡大淀町、吉野郡川上村、五條市、橿原市

大会テーマ

ゆたかなる 森がはぐくむ 川と海

ラッピングトラック走行の趣旨

公益社団法人奈良県トラック協会は、物流の基幹産業であるトラック運送事業の適正な運営を確保し、事故防止を図りながら、事業の社会的地位の向上を目的としています。

第34回全国豊かな海づくり大会の協賛団体として、奈良県のさかな（きんぎょ、あゆ、あまご）や、安全性優良事業所（Gマーク）をラッピングしたトラックが走行しました。



（平成26年11月16日まで走行）

「ラッピングトラックコンセプト」

奈良と聞いて連想するものと言えば、平城宮跡や鹿が群れ遊ぶ奈良公園、世界遺産や東大寺を始めとする数多くの寺院などではないでしょうか。もちろんこれらは奈良の顔であると言えます。しかし奈良は、弥生時代から現代に至るまで連綿と続く永い歴史が積み重なり育かれた地であり、私たちにはまだまだ知って頂きたい事がたくさんあります。たとえば、大台ヶ原に代表される県南部吉野地方の大いなる自然、また多くの伝統工芸や各地の祭り、奈良が誇る数々の特産品など、まさに宝庫であると言えます。

奈良をもっと知ってほしい。様々な顔の奈良を見て・触れて・味わって頂けるきっかけになればとの思いから、「奈良県トラック協会」に加盟する富士運輸の15t大型トラックボディに「夢・食・出逢い」の三種類のテーマでラッピングを施し、北海道から九州まで全国各地を実際に輸送トラックとしてくまなく走り、たとえば高速道路のサービスエリア、国道の交差点での信号待ちなどで偶然にこのトラックと出会った方々に奈良を印象付け、興味を持って頂き、ふたたび奈良に来て、新しい奈良を知って頂くきっかけになればと考え企画いたしました。

ラッピングトラックについて

「夢はこぶことなら（古都奈良）」

奈良にまつわる言葉での「知り取り（しりとり）」。鹿からスタートした言葉は「青丹よし奈良の都は咲く花の薫うがごとく今盛りなり」の歌で終わります。奈良県各地の地名や特産品、奈良にまつわる言葉などで構成。また、「夢はこぶことなら」は奈良から全国に走るトラックが「古都奈良から夢を運ぶ」にかけたものです。

●イメージカラー／黄蘗色（きはだいろ）

この色は奈良薬師寺の魚養経、長屋王が書写した大般若波羅蜜多経など、經典の料紙は黄蘗で染められており、この色を言います。黄蘗には防虫効果があり、正倉院にも公文書用の黄染紙が保存されています。



「美味しい古都奈良」

奈良県発祥である「お茶」。また奈良県は、「あすカルビー」をはじめとした大変美味しい苺の産地です。中でも奈良で生まれた新品種「古都華」はとても美味しく、全国の人々に自信を持ってその味を伝えて行かなければなりません。「奈良にうまいものなし」と、これまで奥ゆかしく謙遜していた私たちは「奈良にうまいものあり!」「美味しい事なら（古都奈良）」と堂々と発信するべきと考えます。

●イメージカラー／若菜色（わかないろ）

邪気を払うという習わしが中国からもたらされた七草粥。その七草（セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ）の色を言います。



「あなたと奈良の縁結び」

奈良県下に10,168台あるトラックの中でわずかに7台のラッピングトラック。とても珍しいこのトラックと出逢えた方は「奈良とご縁がある特別な人」であることから、これをご縁に是非奈良にお越し頂き、人との出逢い。歴史との出逢い。食との出逢いを楽しんで頂きたいという思いが込められています。

●イメージカラー／猩々緋（しょうじょうひ）

能の演目「猩々」の役者の面や装束が鮮やかな赤色であることからこの色名があります。能楽発祥の地、奈良にふさわしい赤色であり、情熱の赤は奈良との縁結びの思いが込められています。



「夢はこぶことなら」 奈良をテーマの知り取り解説

- 鹿…奈良公園と周辺に約1100頭生息する国の天然記念物。
- 香久山…橿原市にあり、欽傍山・耳成山とともに大和三山と呼ばれる。
- 纏向(まきむく)…女王卑弥呼が治めていた地。桜井市にあります。
- 百済(くだら)…朝鮮半島にあった国。倭国と盛んに交流。
- 螺鈿細工(らでんざい)…奈良時代に唐から輸入され、後に伝統工芸に。
- 葛湯(くずゆ)…県南部、吉野地方の吉野本葛が有名。
- ゆうべし…十津川村が有名。柚風味の餅菓子。
- 聖林寺…桜井市にある寺。国宝の十一面観音立像が有名。
- 十一面観音像…奈良時代から信仰を集め、多く祀られる。
- 歌姫…平城京の宮中で雅楽を奏で踊る女性たちが住んだ地名。
- めはりずし…吉野地方の郷土料理。高菜の浅漬けの葉でくるんだおにぎり。
- 正倉院宝物…聖武天皇・光明皇后ゆかりの品。毎年秋に公開される。
- 月ヶ瀬…奈良市東部山間に位置し、梅林や大和茶で有名。
- 青銅鏡…国産の三角縁神鏡は卑弥呼の鏡とも言われる。
- 欽傍山(うねびやま)…橿原市にある大和三山のひとつ。
- 勾玉(まがたま)…古墳などで出土する古代の装身具。
- 万葉集…日本に現存する最古の和歌集。
- 采女神社(うねめじんじゃ)…奈良市の猿沢池の横にある神社。
- 大和…ヤマト王権が大和と呼ばれる地。現在の奈良県。
- 多武峰(とうのみね)…桜井市南部にある山や、その一帯にあった寺院。
- 練粕(ねりかす)…奈良和とも言われる酒粕。
- 朱雀(すざく)…中国の伝説上の神獣で南を守る。平城京朱雀門。
- 久米寺…橿原市久米町にある寺院。
- 螺髪(らぼう)…仏像の丸まった髪の名。
- 都祁…奈良県北東部にかつて存在した村。現在は奈良市。
- 玄奘三蔵…中国の僧。遣唐使の道詔は、玄奘三蔵に教えを受ける。
- 宇陀…奈良県東部、宇陀市および宇陀郡周辺を指す地域名称。
- 大仏…東大寺大仏殿の重舎那仏。
- 角細工…鹿の角切りで切られた角を利用した奈良の伝統工芸。
- 救世観音像(くぜかんのそろう)…法隆寺夢殿の救世観音が有名。
- 団扇(うちわ)…天平模様の透かし彫りなど、奈良の伝統工芸。
- 若草山…毎年1月に山焼きが行われる。奈良を代表する山。
- 真菜…奈良の伝統野菜。漬け菜として利用される。
- なら燈花会…8月上旬に、奈良公園一帯で開催される灯りの行事。
- 役行者(えんのぎょうじや)…修験道の開祖とされる。
- 柳生…奈良市東部山間、柳生を治めた藩。将軍家の剣術指南役。
- 芸亭(うんてい)…日本で最初の公開図書館とされている施設。
- 一刀石…柳生宗厳が、天狗だと思いつた刀のもとに切り捨てた巨石。
- 北山十八間戸…鎌倉時代に奈良につくられた福祉施設。
- 灯籠…灯籠の基本となるのが春日型灯籠。
- 浮穴…大和高田市に存在するとても古い町名。
- 奈良漬…平城京出土の木簡にも「粕漬瓜」との記載がある。粕漬け。
- 蹴鞠(けまり)…桜井市談山神社で春秋に行われる行事。
- 靈山寺(りょうせんじ)…奈良市西部の真言宗大本山の寺院。バラで有名。
- 地藏菩薩…奈良県下に点在する十ヶ寺の地藏菩薩が有名。地藏十福。
- 椿井…ならまちにある地名。
- 石舞台…奈良県明日香村にある古墳時代後期の古墳。
- 石上神宮(いそのかみ)…最古の道「山の辺の道」の中間に位置する神社。
- 馬見丘陵…奈良公園に次ぐ県内2番目の広域公園。
- 菟田野…古事記、日本書紀に記載が散見される宇陀地域の地名。
- 野迫川…吉野郡南部にある村名。
- 和爾下神社(わにした)…天理市に位置し古墳の後円部に建てられた神社。
- 八釣の里…明日香村にあり、撮影ポイントとして有名。
- 十津川郷士…十津川郷に在住していた郷土集団。
- 聖徳太子…法隆寺を創建した日本仏教興隆の祖。
- 下ツ道…7世紀中頃に、奈良盆地を南北に走っていた大道。
- 茶飯…米にほうじ茶を加えて炊き上げた郷土料理。
- 入之波(しおのは)…吉野郡川上村にある温泉。
- 初瀬…昔はお伊勢参りをする人たちが賑わった。桜井市の地名。
- 千尋の滝(せんひろのたき)…奈良県吉野郡上北山村にある滝。
- 金峯山寺…さくらの名所吉野町にある修験道の本山。
- 十二神将…奈良市新薬師寺の等身大の十二神将像が有名。
- 運慶…興福寺を拠点に活動していた奈良仏師運慶の子。
- 斑鳩(いかるが)…生駒郡斑鳩町法隆寺を中心とした地域名。
- 雅楽…中国から伝わり日本で花開いた伝統的な音楽の一つ。
- 九品寺…御所市嵯原にある浄土宗の寺院。
- 持統天皇…飛鳥時代の第41代天皇。
- 鷲塚…若草山の山頂に所在する古墳で国の史跡。
- 唐古遺跡…田原本町にある弥生時代の環濠集落遺跡。
- 吉祥天女…奈良時代の吉祥天の画像で、薬師寺に所蔵されている。
- 吉野…奈良県南部一帯の地名。
- 野槿…奈良に伝わる妖怪。「野の精霊(野つ霊)」の意。
- 茶室…侘び茶の祖、村田珠光は奈良の人。
- 坪杓子(ちゃしゃくし)…五條市大塔の伝統工芸。お玉。
- 漆器…奈良は日本の漆器の発祥の地といわれています。
- 記紀万葉プロジェクト…古事記・日本書紀編纂の地奈良県でのプロジェクト。
- 唐招提寺…奈良市西の京にある鑑真が建立した寺院。
- 自天王…南朝の再建を図った後南朝の最後の指導者。
- 浮見堂…奈良公園鶴池に浮かぶ八角堂形式のお堂。
- 浮雲園地…東大寺に隣接する奈良公園内の園地のひとつ。
- ちがや団子…御所市方面で作られて来た団子。
- 後醍醐天皇…吉野で南朝を樹立した天皇。
- 鸕鷀神事…奈良市の菅原天満宮において行われる神事。
- 十三仏…奈良県には13の仏菩薩を祀る寺院からなる霊場がある。
- 壱阪…西園観音霊場の第六番札所壱阪寺がある。
- 環濠集落…水堀をめぐらせた弥生時代の集落跡。
- 黒髪山…奈良市北部にある丘陵。
- 真土峠…万葉集で詠われた五條市と和歌山の間にある丘陵。
- 玄武…明日香村キトラ古墳の石室に描かれた玄武が有名。
- 仏教伝来…6世紀半ば、百済から倭への仏教伝来のこと。
- 今井…江戸時代の町家が数多く保存されている橿原市の町。
- 雷(いかすち)…明日香村にある丘。柿本人麻呂の歌が有名。
- 中央アジア…シルクロードの終着点である奈良とゆかりの深い国々。
- 青丹よし奈良の都は咲く花の薫りがごとく今盛りなり…万葉集に収められている奈良を代表する小野老の歌。



美味しい古都奈良

- 奈良のいちご…大きくてつやがあり鮮やかな赤色でジューシーな「アスカルビー」、濃い赤色で光沢があり、味が濃厚で香りの強い「古都華」は共に奈良生まれ。
- 大和茶…大同元年(806年)、弘法大師が中国から持ち帰った種から大和茶の歴史が始まり、大和高原を中心に栽培されています。
- 奈良の柿…300年以上の歴史を持つ「御所柿」、奈良県発祥の「刀根早生」の他、「平核無」、「富有」など、7月から12月にかけてリレー出荷されます。
- 大和肉鶏…大正時代から昭和にかけて「大和かしわ」として親しまれていた肉鶏を復活。適度な脂肪と弾力性のある歯ごたえのある肉質が特徴。
- 大和まな…小松菜、しろなの仲間、わが国で最も古い野菜のひとつ。葉は大根葉に似ており、独特の風味や甘みを有します。
- 大和丸なす…つやのある紫黒色で丸い形状。へたに鋭いとげがあるのが特徴。肉質は良く締まり、煮崩れしにくく、焼いても炊いてももしっかりとした食感があります。
- 大和芋…球形で凹凸が少なく、表皮は黒い。肉質は緻密で、粘りが強い。江戸時代から奈良県で栽培されており、和菓子の材料としても重宝されています。

まだまだこんなに美味しい食べ物

- 柿の葉寿司 ●奈良茶飯 ●あすか鍋 ●大和牛 ●大和ポーク
- 伝統野菜(大和まな/干筋みずな/宇陀金ごぼう/ひもとうがらし/軟白すいき/大和いも/祝だいこん/結崎ネブカ/小しょうが/花みょうが/大和きくな/紫とうがらし/黄金まくわ/片平あかね/大和三尺きゅうり/大和丸なす/下北春まな/筒井れんこん)



あなたと奈良の縁結び

私に出逢ったあなた！私は奈良県内に10,168台あるトラックの中でわずかに7台のラッキートラック。
こんなに珍しいトラックと出逢えたあなたは奈良にとっても縁がある人ってことですね。奈良に遊びに来てくれたらもっといい出逢いが待ってるはず！絶対来てね！

